

球変形能を改善する機序について。第7回日本血栓止血学会, 1984, 12, 東京。

35) 泉 三郎, 山下直宏, 丸山宗治, 鈴木英彦, 矢野三郎: 呼吸器感染症に対するMK-0787/MK-0791の臨床使用経験について。第32回日本化学療法学会西日本支部総会, 1984, 12, 岡山。

36) 稲垣 均, 佐野豪泰, 黒田 寛, 浜崎智仁, 浦風雅春, 矢野三郎: ダイアライザー内及び血液回路内洗浄の重要性とその効果。富山県腎疾患・人工透析研究会, 1984。

37) 浜崎智仁, 矢野三郎, 吉田豊彦: エイコサペンタエン酸(EPA)のHD患者への応用。富山県腎疾患・人工透析研究会, 1984。

◆ その他

1) 水野 肇, 矢野三郎: リズムを考える。看護技術 30 (14): 118-131, 1984。

2) 加藤弘巳, 中西京子, 岡岡又雄: グルチルレンチン酸, グルチルリチンの酵素免疫測定法とその臨床応用。MINOPHAGEN MEDICAL REVIEW SUPPLEMENT 15: 3-11, 1984。

3) 勝 正孝, 大澤仲昭, 水島 裕, 矢野三郎: ステロイド療法をめぐる。治療学 12: 371-387, 1984。

## 内 科 学 (2)

教 授	篠 山 重 威
助 教	水 村 泰 治
講 師	飯 田 博 行
講 師	高 田 正 信
助 手	余 川 茂
助 手	井 内 和 幸
助 手	井 上 雄 吉
助 手	秋 山 真
助 手	松 本 三千夫
助 手	神 保 正 樹
助 手	麻野井 英 次
助 手	中 島 久 宜

◆ 著 書

1) Kawai C, Sasayama S, Sakurai T, Matsumori A, Yui Y: Recent advances in the study of hypertrophic and dilated (congestive) cardiomyopathy. In Progress in Cardiology, ed by Yu PN, Goodwin JF, Lea and Febliger, 225-248, Philadelphia, 1983。

2) Sasayama S, Kawai C, Ross JJr. : Contrac-

tile state of the hypertrophied ventricle. Regulation of cardiac function, ed by Abe H, Ito Y, Tada M, and Opie LH, 207-218, Sapan sci. Soc. Press, 1984。

3) 秋山 真, 杉本恒明: 突然に現われる動悸と発作中の胸部圧迫感。「心臓病ケーススタディ」日野原重明他編, 301-307, 医学書院, 1984。

◆ 原 著

1) Sasayama S, Nonogi H, Fujita M, Sakurai T, Wakabayashi A, Kawai C, Eiho S, Kuwahara M: Three-dimensional analysis of regional myocardial function in response to nitroglycerin in patients with coronary artery disease. JACC 3: 1187-1196, 1984。

2) Nonogi H, Sasayama S, Sakurai T, Kawai C, Eiho S, Kuwahara M: Intravenous left ventriculography utilizing digital subtraction technique. Jap. Circ. J. 48: 559-566, 1984。

3) Sasayama S, Nonogi H, Fujita M, Sakurai T, Wakabayashi A, Kawai C, Eiho S, Kuwahara M: Analysis of asynchronous wall motion by regional pressure-length loops in patients with coronary artery disease. JACC 4: 259-267, 1984。

4) Ohyagi A, Sasayama S, Nakamura Y, Lee JD, Kihara Y, Kawai C: Effect of ICI 118, 587 on left ventricular function during graded treadmill exercise in conscious dogs. Am. J. Cardiol. 54: 1108-1113, 1984。

5) Fujiwara H, Onodera T, Takata M, Shirane H, Kato H, Yoshikawa J, Osakada G, Sasayama S, Kawai C: Progression from hypertrophic obstructive cardiomyopathy to typical dilated cardiomyopathy-like features in the end state. Jap. Circ. J. 48: 1210-1214, 1984。

6) Fujisawa A, Sasayama S, Takahashi M, Nakamura M, Ohyagi A, Lee J, Yui Y, Kawai C: Enhancement of left ventricular contractility after opening of an arteriovenous fistula in dogs. Cardiovasc. Res. 18: 51-59, 1984。

7) Shimada T, Sasayama S, Takahashi M, Osakada G, Kawai C: Improvement of pacing induced regional myocardial ischemia by solcoseryl in conscious dogs with coronary artery stenosis. Jap Circ. J. 48: 150-156, 1984。

8) Sasayama S, Fujita M, Nonogi H, Kawai C, Eiho S, Kuwahara M: Quantitative assessment

of regional disorders of left ventricular wall motion in patients with coronary artery disease by cineventriculography. In *Ventricular Wall Motion*, ed by Sigwart u et al. 62—73, Thieme-Stratt on Inc. 1984.

9) Mizumura Y, Matsumoto M, Nishino A, Takata M, Iida H, Sugimoto T: Effects of captopril on the renal hemodynamics during aprotinin infusion in anesthetized dogs. *Renal Physiol.* **7**: 299—303, 1984.

10) Kagamimori S, Takata M, Naruse Y, Watanabe M, Miyamoto M, Okada A: Heritability of erythrocyte  $\text{Na}^+\text{-Li}^+$  countertransport in relation to essential hypertension. *Clinical and Experimental hypertension.* **A6**: 951—960, 1984.

11) Yui Y, Hattori R, Takatsu Y, Nakajima H, Wakabayashi A, Kawai C, Kayama N, Hiraku S, Inagawa I, Tsubajima M, Naito J: Intravenous infusion of a selective inhibitor of thromboxane  $\text{A}_2$  synthetase in man; influence on thromboxane  $\text{B}_2$  levels, 6-keto-prostaglandin  $\text{F}_{1\alpha}$ , and platelet aggregation. *Circulation* **70**: 599—605, 1984.

12) Yui Y, Sakurai J, Nakajima H, Kawai C: Effect of prostacyclin and prazosin in the treatment of congestive heart failure. *Jap. Circ. J.* **48**: 365—372, 1984.

13) 木原康樹, 小坂田元太, 中村正治, 藤沢明子, 橋本友久, 篠山重威, 河合忠一: 超音波心断層法による虚血心局所壁運動の定量的解析: 二次元ベクトル解析による新しいアプローチの評価. *J. Cardiography* **13**: 853—864, 1983.

14) 岸本千晴, 門田和紀, 松森 昭, 桜井恒太郎, 篠山重威, 若林 章, 河合忠一, 村上知行, 藤田正俊: 肥大型心筋症における両室造影法: Angled view の有用性について. *J. Cardiography* **13**: 893—904, 1983.

15) 飯田博行, 泉野 潔, 松本三千夫, 西野章, 高田正信, 水村泰治, 杉本恒明: 実験的肝硬変ラットの腎糸球体病変, 最新医学 **39**: 1691—1696, 1984.

16) 高桜英輔, 牧野 博, 寺田康人, 仲井間憲成, 佐竹京子, 飯田博行: 異所性石灰化にエルカトニン (合成カルシトニン誘導体) が奏効した透析患者の1例. *腎と透析* **16**: 237—240, 1984.

17) 杉山英二, 鈴木英彦, 赤川直次, 山下直宏, 矢野三郎, 飯田博行, 北川正信: IgA腎症を合併した Behçet 病の1例. *日内会誌* **73**: 1818—1822,

1984.

18) 張循範, 高田正信, 池田清司, 供田文宏, 平井 晃, 安本耕太郎, 三川正人, 吉田耕司郎, 飯田博行, 水村泰治, 杉本恒明: 無麻酔 Goldblatt 型高血圧イエウサギにおける選択的  $5\text{-HT}_2$  レセプター遮断薬 Ketanserin の降圧作用. *薬理と治療* **12**: 2245—2251, 1984.

19) 中田瑛浩, 高田正信: 副腎皮質結節性過形成, 腺腫が共存した原発性アルドステロン症の1例—スピロラクトン投与と術後の電解質異常を中心として—. *ホルモンと臨床* **32**: 192—194, 1984.

20) 余川 茂, 杉本恒明, 金木英輔, 林 治朗, 高島裕司, 浦岡忠夫: 六神丸 (モデル処方製剤) の循環動態に対する効果とその評価—第2報—. *和漢医薬学会誌* **1**: 152—153, 1984.

21) 井上雄吉, 池田清司, 甲州道子, 水村泰治, 杉本恒明: Kennedy-Alter-Sung 症候群とその内分泌学的所見について. *最新医学* **39**: 2601—2607, 1984.

22) 井上雄吉, 福原信義, 吉村菜穂子: Cytoplasmic body myopathy の臨床的・病理学的研究, 昭和59年度厚生省「筋ジストロフィーの臨床, 病態と成因に関する研究」班会議報告書.

23) 将積日出夫, 大井秀哉, 小林英人, 大橋直樹, 渡辺行雄, 水越鉄理, 井上雄吉: Pseudothalamic syndrome を呈した橋背部出血の1症例. *Equilibrium Res.* **42**: 68—72, 1983.

24) 杉本恒明, 浦岡忠夫, 秋山 真: 副伝導路症候群における電気生理学的検査の意義. *東京医学* **91**: 1—9, 1984.

25) 秋山 真, 杉本恒明, 浦岡忠夫, 余川 茂, 井内和幸, 神保正樹, 吉田繁樹, 金谷敦志, 谷 昌尚, 中曾根泰二: Nicorandil のヒトに対する電気生理学的作用. *心電図* **4**: 453—458, 1984.

26) 秋山 真, 杉本恒明: 連続矩形波電気刺激による心室興奮閾値の測定法の検討. *心電図* **4**: 668—674, 1984.

27) 松本三千夫, 水村泰治, 藤沢貞志, 高田正信, 飯田博行, 杉本恒明, 小泉富美朝: 慢性腎不全と原発性甲状腺機能低下症を伴ったシスチン症の1剖検例. *日内会誌* **73**: 1183—1188, 1984.

28) 金木英輔, 杉本恒明, 浦岡忠夫, 余川 茂, 井内和幸, 秋山 真, 神保正樹, 能沢 孝, 吉田繁樹, 藤沢貞志:  $\text{Ca}^{+}$ 拮抗薬の抗狭心症効果—運動負荷による検討—. *循環の計測と制御* **3**: 46—53, 1984.

29) 金木英輔, 杉本恒明, 浦岡忠夫, 寺田康人,

余川 茂, 井内和幸, 秋山 真, 神保正樹, 西野章, 藤沢貞志, 吉田繁樹: 狭心症例における運動負荷時の血圧・心拍反応に対する薬物効果. 最新医学 38 (補): 17-21, 1983.

30) 金木英輔, 杉本恒明, 余川 茂, 浦岡忠夫, 小野寺孝一, 奥田忠行: 運動時酸素消費量測定におけるモーガン社製オキシログの問題点. 最新医学 38 (補): 68-70, 1983.

31) 金木英輔, 杉本恒明, 余川 茂, 萩野茂継, 浦岡忠夫: 健康成人におけるジギタリスの運動負荷時循環動態に及ぼす影響. 最新医学 38 (補): 170-173, 1983.

32) 西野 章, 高田正信, 松本三千夫, 飯田博行, 水村泰治, 杉本恒明, 中田瑛浩: レニン依存性高血圧を伴った腎動脈瘤の1例. 腎と透析 17: 683-686, 1984.

33) 西野 章, 金谷敦志, 小田切春洋, 浦岡忠夫, 杉本恒明: 心嚢気腫症の1例. 内科 54: 1177-1180, 1984.

34) 能沢 孝, 杉本恒明, 浦岡忠夫, 余川 茂, 井内和幸, 秋山 真, 神保正樹, 吉田繁樹, 藤沢貞志: 心エコー図における僧帽弁輪石灰化の臨床的意義. 心臓 16: 34-37, 1984.

35) 吉田繁樹, 秋山 真, 余川 茂, 金谷敦志, 中曾根泰二, 杉本恒明: Mahaim 束または slow kent 束と潜在性 kent 束による発作性上室性頻拍症の1例. 臨床心臓電気生理 7: 53-59, 1984.

36) 張循範, 辻 博, 杉本恒明: イヌ in situ 心における verapamil の心臓作用—房室結節機能抑制作用と心筋収縮性抑制の比較—. 臨床と研究 60: 4116-4120, 1983.

37) 高桜英輔, 牧野 博, 寺田康人, 辻 博: Brittle 型糖尿病における持続腹腔内インスリン注入法の試み. 糖尿病 27: 1207-1212, 1984.

#### ◆ 総 説

1) 篠山重威: 心カテーテル法の適応. 非観血的にえられた心・血行力学指標の意義. 日本臨床 42: 2619-2627, 1984.

2) 篠山重威, 野々木宏, 桜井恒太郎, 河合忠一, 藤田正俊, 英保 茂, 桑原道義: 観血的心機能検査法左室圧—容積(長さ)ループの解析. Journal of cardiology 14 (suppl. 1): 25-34, 1984

3) 浅田尚紀, 英保 茂, 桑原道義, 篠山重威, 高橋正明, 小坂田元太, 河合忠一: 超音波心臓断層からの左心室立体構成. 医用電子と生体工学 22: 19-24, 1984.

4) 篠山重威: 左室造影法による定量的心機能評

価. 臨床ME 8: 175-182, 1984.

5) 篠山重威: 心血管調節. 循環器科 15: 388-392, 1984.

6) 篠山重威: 後負荷減少療法. 日本医事新報 3129: 141, 1984.

7) 野々木宏, 篠山重威: 特発性心筋症. 総合臨床 33: 755-760, 1984.

8) 木原康樹, 篠山重威: 心不全の検査—心不全を伴う急性心筋梗塞症における圧—容量関係の把握. 臨床医 10: 120-122, 1984.

9) 水村泰治, 中尾義弘, 川崎 健: 腎不全の高血圧. 三和医報 15: 56-60, 1984

10) 麻野井英次: 抗狭心症薬の臨床評価におけるトレッドミル負荷試験の有用性. 医学と薬学 11: 41-47, 1984.

11) 麻野井英次: 狭心症— $\beta$ ブロッカーの使い方. Medicina 21: 1192-1194, 1984.

#### ◆ 学会報告

1) Tsuji H., Sugimoto T., Kanaya A., Akiyama M., Sasayama S.: An experimental animal model study for the prophylaxis of supraventricular tachycardia. IXth European Congress of Cardiology, 1984, 7, Dusseldorf.

2) Izumino K., Iida H., Asaka M., Matsumoto M., Mizumura Y., Sasayama S.: Effect of an antiplatelet agent, ticlopidine, on immune complex nephritis in rats. IXth International Congress of Nephrology, 1984, 7, Los Angeles.

3) Nakamura Y., Konishi T., Nonogi H., Sakurai T., Sasayama S., Kawai C.: Myocardial relaxation in atrial fibrillation. The American Heart Association's 57th Scientific Sessions, 1984, 11, Florida.

4) 篠山重威: 慢性負荷増加に対する左心室の適応. 第48回日本循環器学会総会シンポジウム, 1984, 3, 博多.

5) 篠山重威: 血管拡張薬療法の臨床理論. 血管拡張薬シンポジウム, 1984, 5, 東京.

6) 篠山重威: 弁膜症. 血管拡張薬シンポジウム, 1984, 5, 東京.

7) 篠山重威: 冠動脈内血栓溶解療法の局所壁運動に対する効果. 東海・北陸合同地方会合同シンポジウム, 1984, 11, 富山.

8) 篠山重威: 新しい選択的陽性変力作用物質の早期二相臨床試験の試み—抗心不全薬の臨床評価法に関する研究—第1回公開シンポジウム, 1984, 8, 東京.

9) 木原康樹, 篠山重威: 急性僧帽弁閉鎖不全の血行動態. 第8回心臓の力学と制御に関する研究会, 1984, 1, 倉敷

10) 水村泰治, 余川 茂, 飯田博行, 宮本 汎, 青木周一, 高桜英輔: Mixed connective tissue disease の心血管系病変. 第81回日本内科学会総会, 1984, 4, 福岡

11) 飯田博行, 浅香充宏, 中尾義広, 泉野 潔, 西野 章, 松本三千夫, 高田正信, 水村泰治, 篠山重威: 慢性糸球体腎炎における塩酸ニカルジピンの血圧と腎機能に及ぼす影響. 第14回日本腎臓学会西部部会, 1984, 5, 大阪

12) 近藤信一, 桜川信男, 飯田博行, 水村泰治: 透析膜およびヘパリン量の凝固系に対する影響. 第29回人工透析研究会総会, 1984, 7, 京都.

13) 余川 茂, 林 治朗, 能沢 孝, 高島裕司, 篠山重威, 二谷立介: 運動負荷試験中の狭心症の有無と心機能との関係. 第18回中部循環研究会, 1983, 9, 名古屋

14) 井上雄吉, 吉村菜穂子, 篠山重威: Diabetic neuropathy における眼輪筋反射の意義について— diabetic neuropathy を中心に— 第14回日本脳波・筋電図学会, 1984, 11, 福岡.

15) 井上雄吉, 福原信義, 吉村菜穂子: Cytoplasmic body myopathy の臨床的・病理学的研究. 昭和59年度厚生省「筋ジストロフィー症の臨床・病態と成因に関する研究」班会議, 1984, 12, 東京.

16) 井上雄吉, 吉村菜穂子, 浅香充宏, 田中裕子, 篠山重威, 福原信義: 原因不明の神経筋疾患による呼吸不全を呈した1女性例. 第2回北陸神経内科懇話会, 1984, 10, 金沢

17) 秋山 真, 辻 博, 杉本恒明: 発作性上室性頻拍誘発の条件について. 第8回心臓ペーシング研究会, 1984, 6, 名古屋

18) 神保正樹, 千代英夫, 山崎隆吉, 谷本一夫: Cyclic thrombocytopenia とと思われる1例. 第124回日本内科学会北陸地方会, 1984, 9, 金沢.

19) 金木英輔, 秋山 真, 井内和幸, 余川 茂, 水村泰治, 篠山重威: 扁桃摘出後, 不整脈の改善をみた sleep apnea の1例. 第123回日本内科学会北陸地方会, 1984, 6, 福井.

20) 金木英輔, 余川 茂, 井内和幸, 秋山 真, 神保正樹, 能沢 孝, 吉田繁樹, 篠山重威: 労作性狭心症における運動負荷時の血圧心拍反応に対する薬物効果. 第2回金沢循環器疾患薬物療法研究会, 1984, 10, 金沢.

21) 西野 章, 井上雄吉, 松本三千夫, 泉野

潔, 谷野正一郎, 飯田博行, 水村泰治, 篠山重威: 臭化メチル中毒の1例. 第122回日本内科学会北陸地方会, 1984, 3, 金沢.

22) 西野 章, 井上雄吉, 平井 晃, 泉野 潔, 三川正人, 松本三千夫, 高田正信, 飯田博行, 水村泰治: 血液灌流を施行した急性臭化メチル中毒の1例. 第8回富山県腎疾患・人工透析研究会, 1984, 6, 富山

23) 能沢 孝, 余川 茂, 林 治朗, 高島裕司, 井内和幸, 篠山重威, 瀬戸 光, 二谷立介: 心筋梗塞後症例における運動負荷心電図ST変化のT1心筋シンチによる検討. 第2回北陸循環器核医学研究会, 1984, 7, 金沢.

24) 能沢 孝, 余川 茂, 麻野井英次, 中島久宜, 井内和幸, 林 治朗, 高島裕司, 篠山重威, 二谷立介, 瀬戸 光: 冠動脈正常例における右室ペーシング負荷—<sup>201</sup>Tl心筋シンチグラフィ—について—第3回北陸循環器核医学研究会, 1984, 12, 金沢.

25) 吉田繁樹, 秋山 真, 余川 茂, 金谷敦志, 谷 昌尚, 中曾根泰二, 篠山重威: 左側 Mahaim 束と左側潜在性 Kent 束による発作性上室性頻拍の1例. 第14回臨床心臓電気生理研究会, 1984, 5, 鹿児島.

26) 吉田繁樹, 秋山 真, 余川 茂, 谷 昌尚, 中曾根泰二, 井内和幸, 麻野井英次, 篠山重威: 2秒以上の心停止例に対する検討. 第5回ホルター心電図研究会, 1984, 6, 東京.

27) 泉野 潔, 飯田博行, 浅香充宏, 中尾義広, 西野 章, 松本三千夫, 水村泰治, 篠山重威: ラット馬杉腎炎に対する抗血小板の効果. 第27回日本腎臓学会総会, 1984, 11, 東京.

28) 辻 博, 久保 裕, 山崎義人, 森泉哲次, 早瀬 満: 剖検で確診された器質性肺炎の1例. 第20回日本胸部疾患学会北陸地方会, 1984, 11, 金沢.

29) 安本耕太郎, 高田正信, 平井 晃, 供田文宏, 池田清司, 三川正人, 吉田耕司郎, 井内和幸, 篠山重威: 高血圧性心肥大の規定因子—臨床像, 循環動態および体液性因子に基づく検討. 第27回日本腎臓学会総会, 1984, 11, 東京.

30) 安本耕太郎, 吉田耕司郎, 飯田博行, 高田正信, 川崎 健, 松本三千夫, 西野 章, 泉野 潔, 水村泰治, 篠山重威: シヤント感染によると思われる Staphylococcus 肺炎の1例. 第13回北陸腎疾患懇話会, 1984, 5, 金沢.

31) 江尻倫昭, 余川 茂, 篠山重威, 能沢 孝, 河上浩康, 高島裕司, 井内和幸: 慢性僧帽弁閉鎖不

全症における endsystolic wall stress/endsystolic volume index. 日本循環器学会第65回東海, 第50回北陸合同地方会, 1984, 11, 富山.

32) 浅香充宏, 飯田博行, 中尾義弘, 泉野 潔, 水村泰治, 篠山重威, 鈴木英彦, 佐藤正樹, 岩田雅徳: 慢性腎不全における細胞性免疫能—Natural killer 細胞活性に関する検討— 第27回日本腎臓学会総会, 1984, 11, 東京.

33) 浅香充宏, 飯田博行, 泉野 潔, 水村泰治, 篠山重威, 鈴木英彦, 佐藤正樹, 岩田雅徳: 慢性腎不全における細胞性免疫能. 第14回日本腎臓学会西部部会, 1984, 5, 大阪.

34) 池田清司, 高田正信, 供田文宏, 平井 晃, 安本耕太郎, 三川正人, 吉田耕司郎, 水村泰治, 篠山重威: ketanserin の5-H T<sub>2</sub>レセプター遮断作用—麻酔イェウサギの腎血管反応による検討. 第27回日本腎臓学会総会, 1984, 11, 東京.

35) 高島裕司, 能沢 孝, 金木英輔, 余川 茂, 秋山 真, 井内和幸, 麻野井英次, 篠山重威: 拡張期心筋症所見を呈した慢性浸出性心膜炎の1例. 日本循環器学会第65回東海, 第50回北陸合同地方会, 1984, 11, 富山.

36) 谷 昌尚, 秋山 真, 吉田繁樹, 中曽根泰二, 余川 茂, 篠山重威: 副伝導路症候群における心室早期刺激法による P S V T 誘発の機序について. 第48回日本循環器学会北陸地方会, 1984, 2, 富山.

37) 谷 昌尚, 秋山 真, 吉田繁樹, 金谷敦志, 中曽根泰二, 余川 茂, 篠山重威, 杉本恒明: 副伝導路症候群における心室早期刺激法による発作性上室性頻拍誘発の機序. 第8回心臓ペースィング, 1984, 6, 名古屋.

38) 谷 昌尚, 秋山 真, 吉田繁樹, 金谷敦志, 中曽根泰二, 余川 茂, 篠山重威: 徐脈性不整脈におけるトカイナイドの電気生理学的作用. 第1回日本心電学会, 1984, 10, 名古屋.

39) 中曽根泰二, 秋山 真, 余川 茂, 吉田繁樹, 金谷敦志, 辻 博, 谷 昌尚, 杉本恒明, 篠山重威: Disopyramide の心室細動予防作用. 第48回日本循環器学会総会, 1984, 3, 東京.

40) 中曽根泰二, 秋山 真, 吉田繁樹, 金谷敦志, 谷 昌尚, 余川 茂, 篠山重威: 洞不全症候群におけるプロカインアミド静注負荷試験の有用性. 日本循環器学会第65回東海第50回北陸合同地方会, 1984, 11, 富山.

41) 中尾義弘, 浅香充弘, 麻野井英次, 井内和幸, 水村泰治, 篠山重威: Kasabach-Merritt 症候群に肺塞栓症を合併し二次性肺高血圧症をきたした1

例. 日本内科学会第134回東海, 第125回北陸合同地方会, 1984, 11, 富山.

42) 中尾義弘, 水村泰治, 松本三千夫, 浅香充宏, 泉野 潔, 西野 章, 高田正信, 飯田博行, 篠山重威: 虚血性急性腎不全の維持期における腎血行動態について. 第27回日本腎臓学会総会, 1984, 11, 東京.

43) 平井 晃, 三川正人, 高田正信, 飯田博行, 水村泰治: アルファロールにより軽快した尿細管性アシドーシス (RTA) による骨病変. 第6回北陸骨 Ca 代謝説明会, 1984, 10, 金沢.

44) 田中裕子, 荒井志郎, 黒崎正夫, 高柳尹立, 飯田博行: 大量の蛋白尿を呈した急性間質性腎炎の1症例. 第13回北陸腎疾患懇話会, 1984, 5, 金沢.

45) 和田 攻, 井上雄吉, 金木英輔, 篠山重威, 高島裕司, 能沢 孝, 小田切春洋: One-and-a-half syndrome を呈した橋被蓋部梗塞の1例. 第48回日本神経学東海・北陸地方会, 1984, 3, 名古屋.

46) 石坂真二, 浅香充宏, 中尾義弘, 泉野 潔, 松本三千夫, 西野 章, 中島久宜, 飯田博行, 水村泰治, 篠山重威: ネフローゼ症候群を呈した肺癌の1例. 第12回中部日本糸球体腎炎談話会, 1984, 10, 名古屋.

47) 上野 均, 井上雄吉, 吉村菜穂子, 和田 攻, 池田清司, 高田正信, 福原信義: Grant axon を認めた hypothyroidneuropathy の1例. 第50回日本神経学会東海北陸地方会, 1984, 12, 名古屋.

48) 亀山智樹, 麻野井英次, 泉野 潔, 井内和幸, 能沢 孝, 篠山重威, 上山外史, 永井 晃, 津田基晴: 不全型 Behçet 病に合併した急性大動脈弁閉鎖不全症の1例. 第49回日本循環器学会北陸地方会, 1984, 6, 金沢.

49) 平井忠和, 余川 茂, 篠山重威, 川崎 健, 八木晋一, 浅川哲也: 超音波変位計による大動脈総頸動脈硬化の定量—健常群, 脳梗塞群, 心筋梗塞群の対比. 第25回脈管学会総会, 1984, 11, 東京.

50) 吉村菜穂子, 井上雄吉, 吉田繁樹, 飯田博行, 水村泰治, 篠山重威, 高橋省三, 泉 三郎, 石田俊郎: Trigeminal sensory neuropathy と球症状を呈した sarcoidosis の1例. 第38回北陸医学会総会第124回日本内科学会北陸地方会, 1984, 9, 金沢.

#### ◆ その他

1) 篠山重威, 北島 顕: 第56回アメリカ心臓学会印象記—電気生理学・不整脈研究の現状. 心電図 4: 475—478, 1984.

2) 篠山重威: 心臓発作の危険因子とその予防.

第614回ロータリー富山西例会, 1984, 10, 富山.

3) 篠山重威: 労作兼安静時(異型)狭心症. In case reports (ニトロールR), 加藤和三編, 192—193, Excerpta Medica, 1984.

4) 高田正信: C a<sup>++</sup>拮抗剤で効果不十分な症例にセロケンを追加奏効した症例. 医報フジ, 53: 33, 1984.

5) 余川 茂, 麻野井英次, 井内和幸, 秋山 真, 中曾根泰二: 虚血性心疾患におけるロコルナルの使用経験. 北陸地区M. R. C. の会, 1984, 7, 富山.

8) 井上恭一, 古谷田裕久, 市田隆文: 肝硬変合併例の食事療法. 「第18回糖尿病学の進歩, 糖尿病の療養指導」日本糖尿病学会編, 101—107, 診断と治療社, 1984.

9) 小島 隆, 松井俊二郎, 青山圭一, 佐々木博: B型肝炎における肝細胞と浸潤リンパ球とのinteraction に関する免疫電顕による検討. 「肝と免疫—免疫性肝障害を中心に—」長島秀夫他編, 32—37, 医歯薬出版, 1984.

10) 市田隆文, 宮際 幹, 佐々木 博: 輸血と肝細胞癌の発生. 「ウイルス肝炎から肝細胞癌へ」服部信編, 633—640, 癌と化学療法社, 1984.

11) 市田隆文, 紺田健彦, 宮際 幹, 松井俊二郎, 宮林千春, 中野 護, 井上恭一, 佐々木 博: 成人肝 Focal nodular hyperplasia の電子顕微鏡的検討. 「肝細胞癌の類似病変」中島敏郎他編, 45—53, 中外医学社, 1984.

12) 松井俊二郎, 青山圭一, 康山俊学, 紺田健彦, 柴田 貢, 市田隆文, 小島 隆, 井上恭一, 佐々木 博: 慢性肝炎と肝硬変の診断における腹腔鏡検査の意義. 「腹腔鏡 Peritoneoscopy」亀田治男監修, No. 3, 13—17, 日本医学館, 1984.

13) 青木照明, 田中三千雄他: 急性胃粘膜病変および消化性潰瘍出血に対する Ranitidine の止血効果. PROCEEDINGS RANITIDINE SYMPOSIUM TOKYO-1984, by Takemoto T. (Ed.), Excerpta Medica, 243—254, 1984.

14) 水島和雄, 田中三千雄他: Ranitidine の十二指腸に対する治療効果. PROCEEDINGS RANITIDINE SYMPOSIUM TOKYO-1984, by Takemoto T. (Ed.). Excerpta Medica, 141—153, 1984.

15) 岡崎幸紀, 田中三千雄他: Ranitidine の胃潰瘍に対する効果. PROCEEDINGS RANITIDINE SYMPOSIUM TOKYO-1984, by Takemoto T. (Ed.), Excerpta Medica, 131—140, 1984.

## 内 科 学 (3)

教 授	佐々木	博
助 教	井 上	恭 一
講 師	田 中	三 千 雄
講 師	中 野	護
講 師	小 島	隆
助 手	市 田	隆 文
助 手	藤 倉	信 一 郎
助 手	樋 口	清 博
助 手	紺 田	健 彦
助 手	松 井	俊 二 郎
助 手	康 山	俊 学
文部技官	桑 原	芳 弘

### ◆ 著 書

1) Takeuchi J., Kasai Y., Sasaki H., et al. (The Liver Cancer Study Group of Japan): Primary liver cancer in Japan, Cancer, 54: 1747—1755, 1984.

2) 佐々木 博: 胆汁うっ滞性肝炎. 「内科シリーズ No. 41 ウイルス肝炎のすべて」織田敏次編, 285—297, 南江堂, 1984.

3) 佐々木 博: 慢性肝炎・ルポイド肝炎. 「内科学3, 第3版」上田英雄他編, 631—634, 朝倉書店, 1984.

4) 佐々木 博: 胆汁うっ滞. 「内科学, 第3版」上田英雄他編, 648—652, 朝倉書店, 1984.

5) 佐々木 博: 慢性肝炎. 「今日の内科学」宮本昭正他編, 720—723, 医歯薬出版, 1984.

6) 佐々木 博: ルポイド肝炎. 「今日の内科学」宮本昭正他編, 723—724, 医歯薬出版, 1984.

7) 井上恭一, 市田隆文: 原発性肝癌の非観的治療とその予後. 「肝硬変と肝腫瘍, 集学的診療をめざして」水戸勉郎他編, 298—311, 医学書院, 1984.

### ◆ 原 著

1) Aoyagi Y., Suzuki Y., Isemura M., Soga K., Ozaki T., Ichida T., Inoue K., Sasaki H. and Ichida F.: Differential reactivity of  $\alpha$ -fetoprotein with lectins and evaluation of its usefulness in the diagnosis of hepatocellular carcinoma; Gann, 75: 809—815, 1984.

2) 佐々木 博, 市田文弘, 山本祐夫, 黒木哲夫, 井上恭一, 樋口清博, 康山俊学: 原発性胆汁性肝硬変全国調査集計結果(第3報). 厚生省特定疾患難治